

東証二部 6240 ヤマシンプルタ (株)

Sector; 機械

23-Mar-15

建機用油圧フィルタ世界トップシェア ~株式上場を機に新たなステージへ~

問合せ: IR STREET TEL: 03-4500-6880

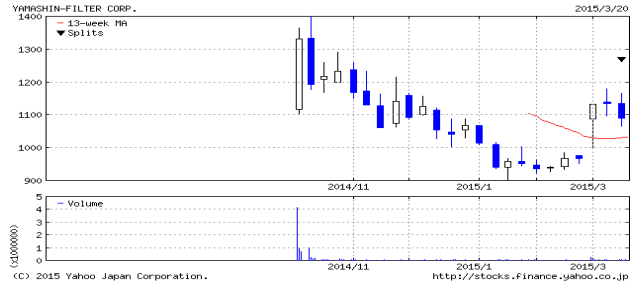
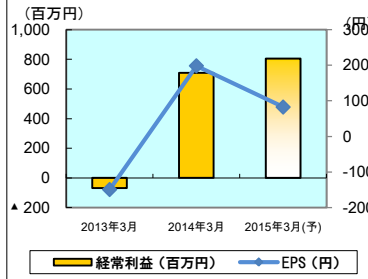
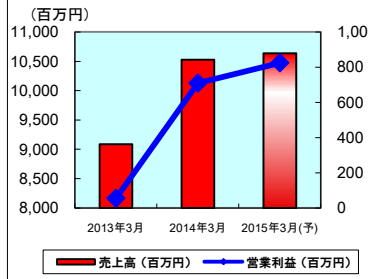
会社概要

代表者 山崎敦彦 URL: <http://www.yamashin-filter.co.jp/>
 本社 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル16F
 事業内容 建設機械用フィルタ、産業用フィルタ、精密フィルタ及び関連部品の製造・販売
 発行済み株式数 6,219,000 株 (2015年3月19日現在)
 主要株主 (株)やまびこホールディングス(50.2%) 山崎敦彦(11.8%) 山崎敬明(7.4%) 山崎裕明(7.4%)
 NIFSMB-C-V2006S3投資事業組合(4.7%) 三井住友銀行(2.9%) (2014年9月末)

設立 1956年4月
 上場 2014年10月

23-Mar-15	
株価	1,087円
PER(予)	13.18倍
PBR	1.07倍
EPS(予)	82.50円
BPS	1,013.09円
配当利回り(予)	1.75%
時価総額	6,760百万円
出来高(5日平均)	27,480株
単元株数	100株

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	配当金 (円)	EPS (円)
2013年3月	9,088	55	▲69	▲253	24.0	▲149.40
2014年3月	10,530	710	709	336	27.0	198.50
2015年3月(予)	10,637	825	805	463	19.0	82.50



<会社概要・沿革>

1956年創業。建設機械用油圧フィルタ製品、産業機器用各種フィルタ製品の開発・製造・販売を行う。油圧ショベル向け油圧フィルタの世界最大手で、ろ材の開発から生産まで一貫して手掛けている。経営理念の「仕濾過事(ろかじにつかふる)はフィルタビジネスを通じて社会に貢献する」の意。横浜みなとみらい本社以外に海外4カ所の販売拠点(ベルギー、タイ、アメリカ、上海)、横浜、中国蘇州と2カ所の開発拠点、生産拠点としては佐賀工場とフィリピンセブ工場を持つ。2008年のリーマンショック、2011年のタイ洪水の影響からJASDAQへの上場を二度断念。2014年10月に満を持し東証二部に上場を果たした。当社は創業当初から建機業界の抱える課題を解決することで業績を拡大してきた。創業期にはダストによる建機故障という建機メーカーの悩みを、ろ材を自社開発し高精度フィルタ製品化の実現で解決。1980年代から2000年代の成長期では建機の省エネ化に伴う油圧の高圧化に対応するろ材として世界初のガラス繊維ろ材を開発し「ダストがたくさん取れて、サッと抜ける」という相反する要求を実現。また、業界初の各メーカー専用品の製品化にも対応した。2001年以降を第二創業期と位置付け、補給部品市場における模倣部品の流通拡大という建機業界の課題に対し純正品の高性能性と建機に与える影響についてユーザー啓蒙のセミナーを展開。中国における2015年のTier3レベル導入など世界的な排出ガス規制の強化は当社にとっては強い追い風となる。

<事業戦略・業績見通し>

建機用の油圧フィルタでは世界トップシェア。世界の主要な建機メーカーが顧客となっている。事業領域は建機用フィルタ、工作機械・鉄道車両・船舶等向けの産業用フィルタ、電子部品や食品などの製造工程でのろ過・分離用のプロセス用フィルタと幅広いが、中心となるのは建機用フィルタで売上の約9割を占める。建機は移動から上体の旋回、ショベルの作動まで全て油圧によって動いている。当社の提供している建機用フィルタが、油圧機器を動かす作動油からダストを除去することで、油圧機器の動作は正常な状態を保つことができる。当社は、国内の新車搭載用フィルタ(ライン用)のうち、リターンフィルタでは約7割と圧倒的なシェアを持っており、今後はより収益性の高い補給市場でのシェア拡大を目指す。当社の製品は補給市場も含め全て建機メーカーを通して市場に供給される。この仕組みは建機メーカーとの強固な信頼関係の上に成り立っており、そのベースとなるのは、当社の強みでもある圧倒的なろ材開発力にある。当社はガラス繊維ろ材をフィルタに業界で初めて採用した。この製品は、ろ過精度を4倍に上げながらライフは2倍以上、サイズは半分以下と驚異の高性能化を実現。このガラス繊維ろ材を使用したフィルタが建機の省エネ化に伴う油圧の高圧化を支えている。当社のビジネスの収益モデルは、新規建機用(ライン用)のフィルタ売上拡大と、新規市場に比べてはるかに規模の大きなマーケットがある補給用フィルタの市場シェア拡大(特に中国市場)による売上と粗利率の改善にある。特に中国市場は、偽物が多く環境問題の厳格化から、補給市場の拡大をメーカーと共同で推進中。今後は、技術力を活かし、農業機械、航空機、ロボットといった新分野への拡大も視野に入れており、中長期的な成長が期待できる。2015年3月期は売上高106億37百万円、営業利益8億25百万円、経常利益8億5百万円、当期純利益4億63百万円を見込む。PER13.2倍、PBR約1倍は今後の事業拡大を考えると割安感が大きい。2015年3月19日基準で1:3の株式分割を実施。最低購入代金が約11万円と買いやすくなったこともプラス材料。

Corporate analysis by IR STREET

Strength	Opportunity
1.ろ材の開発から生産までを一貫して手掛ける組織体制	1.世界レベルでの排出ガス規制強化(特に新興国)
2.高難易度の要求に応えるろ材開発技術力	2.高品質フィルタによる建機の長寿命化への期待
3.建機メーカーとの強固な信頼関係	
Weakness	Risk
1.建機メーカーの動向による影響大	1.模倣品流通量の拡大による純正率の低下
	2.地政学リスク

Peer comparison

	決算期	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	経常利益率 (%)	EPS (円)	PER (3/23株価)	株価 (3/23終値)
ヤマシンプルタ (6240)	2015年3月期(予)	10,637	805	7.6%	82.5	13.2	1,087円
ダイジェット (6138)	2015年3月期(予)	10,000	540	5.4%	10.4	21.9	228円
富士精工 (6142)	2015年2月期(予)	19,880	1,060	5.3%	40.9	7.9	325円
オカダアイオン (6294)	2015年3月期(予)	11,500	1,000	8.7%	86.9	13.8	1,200円
同業種(機械231社)平均		119,927	10,806	9.0%		19.1	—



IR情報



同社のIR情報はこちらよりご覧になれます。